

## ICT街づくり推進会議 地域懇談会@袋井 議事要旨

### 1. 日時

平成25年6月18日(火) 15:30~16:40

### 2. 場所

袋井市総合センター4階大会議室

### 3. 出席者

#### (1) ICT街づくり推進会議構成員

岡座長、岩沙構成員

#### (2) ICT街づくり推進会議検討部会構成員

河合構成員、齋藤構成員、佐藤構成員、辻田構成員、細川構成員、三崎構成員、武藤構成員

#### (3) 袋井市における実証プロジェクト関係者

原田袋井市長、池野袋井市副市長、豊田袋井商工会議所会頭、中村大和コンピューター代表取締役社長、三次慶應大学環境情報学部准教授、稲葉神奈川工科大学情報学部准教授 他

#### (4) 農林水産省

矢野大臣官房統計部情報室長

#### (5) 総務省

桜井情報通信国際戦略局長、高崎総合通信局長(司会)、中村融合戦略企画官 他

### 4. 議事

(1) 袋井市におけるICT街づくり推進事業の取組み等について

(2) フリーディスカッション

### 5. 議事概要

(1) 袋井市におけるICT街づくり推進事業の取組み等について

原田袋井市長、中村（株）大和コンピューター代表取締役社長、三次慶應義塾大学環境情報学部准教授、豊田袋井商工会議所会頭より、資料1に基づき説明が行われた。

## （２）フリーディスカッション

主な発言は以下のとおり。

### 【河合構成員】

- 従来、防災システムはコスト面の課題があったが、eコマースのような平常時の機能と、防災システムという異常時の機能を併せて有するものを構築した袋井市の取り組みは良い事例。また、平常時の機能が、健康・生きがい・子育て・教育にも紐付き、成長産業でもある農業への利活用であり、今後の日本で課題となる農業と防災を組み合わせるテーマとしている点でもすばらしい。
- 実証実験に留まらず、取り組みを今後拡大していくためには、行政、生産者、流通業者等の多くのステークホルダーに一定程度の負担が必要。行政側の負担としては、特に防災システムに力を入れることが挙げられる。
- 利用者の負担は少ないほうが良いが、一定程度は免れないだろう。今後どういうビジネスモデルを構築していくのか、行政と推進者それぞれのお話を伺いたい。

### 【中村社長】

- ビジネスモデルを構築する上では、ランニングコストの捻出方法など、行政の立ち位置と民間企業等の収益性との折り合いがポイント。
- 大事なものは、利害関係者の対立をなくすということ。今回JAとの交渉も既に進めており、物流の規模の拡大やこん包する地産品の組み合わせの増加などが期待でき、実現できれば良いスタートが切れる。
- また、利用者がICT機器を平時に使ってこそ、有事の際にもスムーズに使える。行政が災害訓練等の防災対策の中に広くICT機器を使って

いくこともキー。

#### 【原田市長】

- 中村社長が資料で説明したような、メロンの生産における「7割が詳しい人の技術、3割が標準的な作業」という割合をICTで逆転していくという取組は相当時間がかかる。一方で、生産物をどのように市場に持ち込みいかに農家に利益を残すか、という商品流通の面での取組の方が、農家の方々等の関心も高く、比較的進めやすい。
- 災害時の物資供給システムについては、袋井市だけが完成させても広域災害時には機能せず、ある程度自市で完成させた上で総務省の支援も受けながら横展開することが必要。現段階では、救援物資のカテゴライズの最適化等をできる範囲で検討していきたい。

#### 【河合構成員】

- 袋井市での事業のモデル化がうまくいけば、全国展開の可能性が見える。総務省の推進に期待。
- 袋井市の行政で防災に関する予算をつぎ込み、民間でもそれなりの負担をして、持続可能なビジネスモデルを作る事を検討頂きたい。JA他、各ステークホルダーとの関係は難しい部分もあると思うが、ぜひ乗り越えて頂きたい。

#### 【三崎構成員】

- 実証実験はその実証期間中限りではなく、持続性が重要。
- JA、ビジネスの客先、新規参入者等、新しいステークホルダーを巻き込む観点や、市の備蓄品の全数管理等を行うことで平時・災害時共にシステムを使おうという観点など、良いことを点から面へ広げていく方向性は正しいと思う。
- ステークホルダー間で様々な利害関係はあるが、ICTは共通の基盤として共同利用するという観点も必要では。
- 平時から市のシステムとして使うのであれば、市がコスト負担すること

も良いのでは。

- 南海地震等の想定被災地域の自治体への展開も視野に入れてはどうか。
- ICTだけで農業が強くなる訳では無いかもしいれないが、ICTの活用で生産者と消費者を直接つなげたり、若者が農業に魅力を感じるようになったりすることが期待できる。

#### 【岩沙構成員】

- 先日閣議決定された政府の新たな成長戦略でも「攻めの農業」は大きな柱の1つ。その中でITロボット技術を活用した農林水産物と生産流通システムの高度化とがうたわれており、袋井の事業はまさにそのモデルではないか。
- 原田市長から話のあった「農を生かしたまちづくり」は、地域の発展や若い世代のさらなる活躍のためにも大事な要素であるとのことで、大変感銘を受けた。
- 農業へのICTの活用は、生産現場における品質管理にとどまらず、流通や販売、消費者等とのカスタマーリレーションまで含めて農業のサプライチェーンマネジメントを行う点で、まさに1次産業である農業に生産現場のICT化という2次産業、流通販売という3次産業を掛け合わせた6次産業化とも言える。この実証をさらに発展させて活かして頂きたい。
- 消費者の安全・安心への意識が高まり、生産者と消費者とのつながりが重要視されている中、トレーサビリティは国内外において高付加価値であり競争力の源泉。
- 消費者側から見た場合これらのシステムは大変有益だが、全国の生産者が別々のシステムを構築すると使い勝手が悪い。いわゆるデファクトスタンダードを作るためにも、実証事業によるモデル化は必要。総務省も標準化という点を問題意識として受けとめる必要がある。この点につき、今実証事業をされている立場から気づきや提案があればお聞かせ頂きたい。
- 平時の農産物管理と災害時の物資管理を同じシステムで兼ねるという考

え方もすばらしい。災害時では物資を求める側と送ろうとする側、平時では顧客側と生産側のそれぞれの間での双方向性が当該システム上でどう組み込まれているかが気になるのでお聞かせ願いたい。

**【三次准教授】**

○今回の事業は端的に言えば物をコンピューターで扱うもの。必ずしも農産物や災害物資の供給という面だけで注目されているわけではない。例えば I E T F、G S 1、I T U、W 3 C を包括的に見て、どういうビジネスモデルでコンピューターシステムを動かしていくかという、ある種ハイレベルな形で標準化を進めることが必要と思う。

**【中村社長】**

○平時での顧客側・生産側間の双方向性としては、フェイスブックで生産者のご紹介や閲覧者の評価機能などがある。従来は市場での卸し価額等を消費者の評価の指標としていたが、フェイスブックで消費者のニーズを直接つかむように進めていく。ただし、風評被害等への対応は新たな課題であり、それを解決するためにも若い世代の農家の新規参入は必要。また、フェイスブック以外にもインターネットで様々な双方向性の実現が考えられ、今後活用を検討したい。

○非常時での物資ニーズの汲み取りについては、今後の改良で漏れのないようにしていく。

**【原田市長】**

○東日本大震災のときは、物資を要請する市町村と供給する市町村、それぞれの属する県が中継してやりとりをしていた。しかし、本実証事業が制度化され何らかのボード（共通基盤）により総括的に管理されれば、物資を要請する側と供給する側で直接やりとりができる。そのボードの仕様を検討することは一つの街での実証実験でも可能。

**【農林水産省大臣官房統計部情報室矢野室長】**

- 儲かる農業に必要なのは流通の効率化であり、これはまさにICTに求める最大の利点。
- 農業就業者の高齢化が話題となっているが、既存農家という世帯単位での高齢化は進んでいるものの、農業生産法人の雇用を鑑みれば若返っているとと言える。ICTによって農業に参入する若い方の意欲をますます高めることに期待したい。
- システムの標準化については、総務省のICTまちづくり事業の推進だけでなく、農林水産省としても取り組んでいく必要がある。政府の新しいIT戦略の中でも、農業に係る取り組みが打ち出されており、今後の予算要求への反映も検討したい。

#### 【桜井情報通信国際戦略局長】

- 総務省として、多分野の課題にICTを絡める施策に取り組んでいる中、農業のICT化が一番早く効果が出ると予想していたが、課題はまだある。横展開を行う上での課題や多様なステークホルダーとの関係等、様々なご指摘を頂いており、引き続き農林水産省と共に取り組みたい。

#### 【岡座長】

- 日本に残っている成長産業の最後の砦は農林水産業、特に農業ではないか。その農業へのICTを活用した取り組みがわかってよかった。
- 袋井市には、農を活かしたまちづくりという理念の中で、できるだけ幅広くICTの利活用をしていただきたい。その中で支援、応援できる部分があれば引き続きやっていきたい。本懇談会の中では、2015年まで各街づくりでの成果を集約して共通基盤を作ることを掲げている。袋井市には是非、農業の面で全国の共通基盤になるようなものを作って頂きたい。

以上